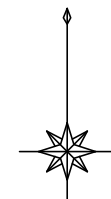


図名	位置図
署名	三陸中部森林管理署
名称	折合林道改良工事（上葛内橋）
所在地	岩手県上閉伊郡大槌町金沢字 東金沢山国有林227へ1林小班外
縮尺	1/50,000



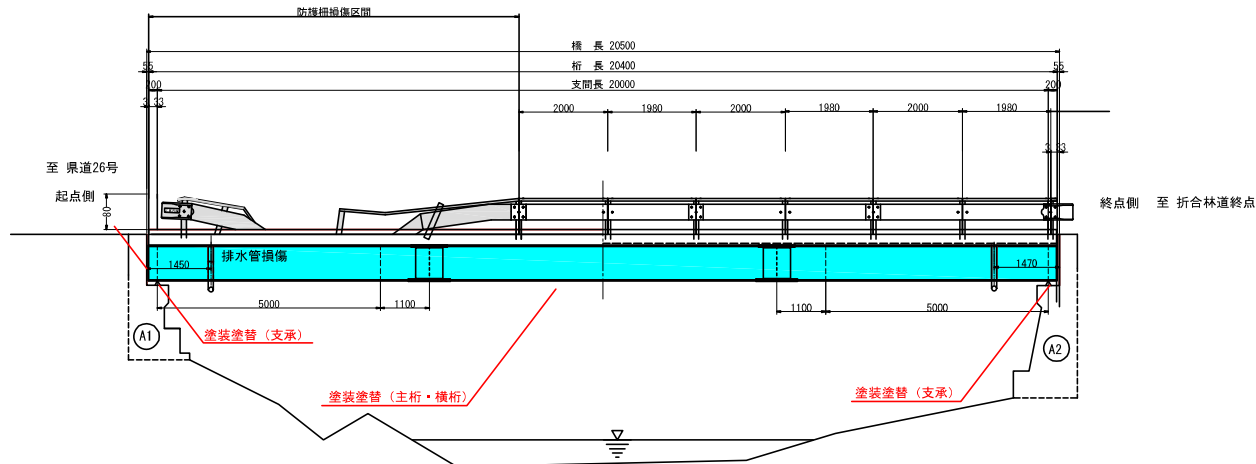
東北森林管理局 大槌・気仙川森林計 三陸中部森林管理署森林位置



補修一般図

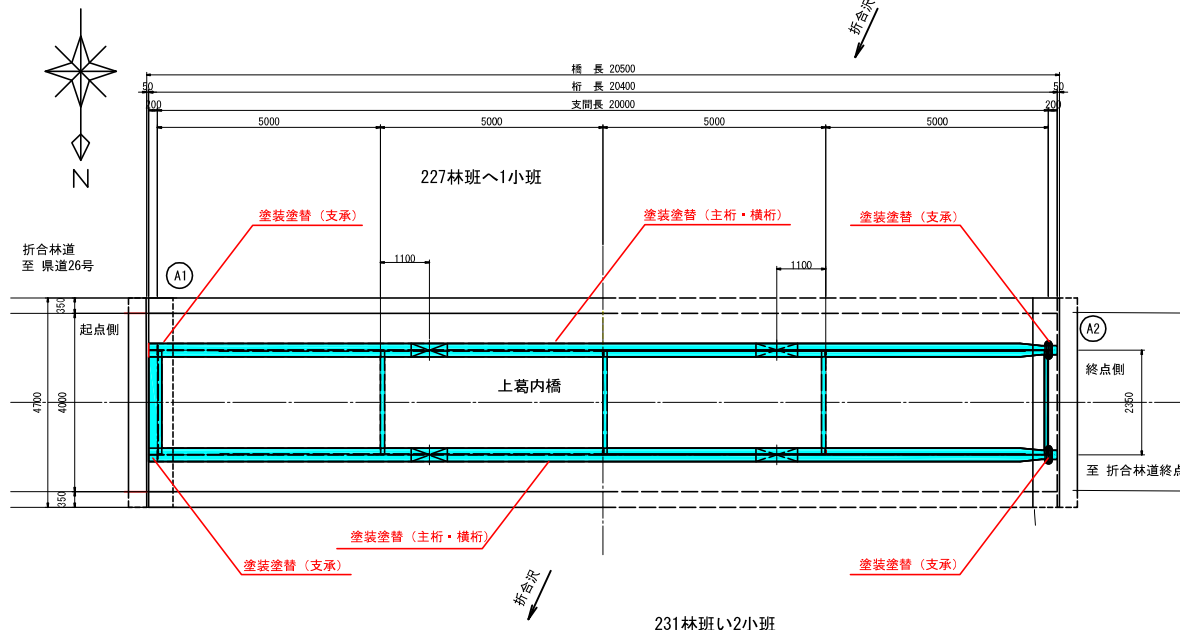
（上葛内橋）

側面図（上流側） S=1:60

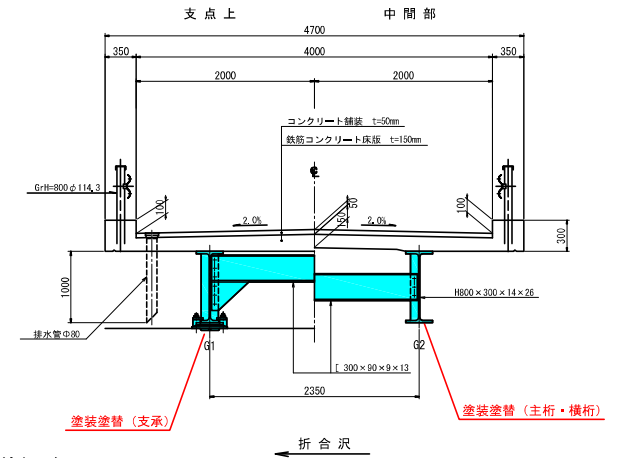


注) 下部工地中部の形状・寸法は、竣工図書がないため推定によるものである。

平面図 S=1:60



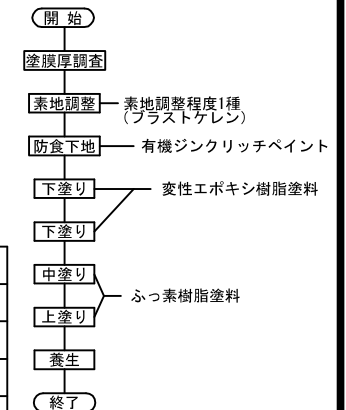
上部工断面図 S=1:30



塗装概略図

- 素地調整程度1種: プラストケレン
- 有機ジンクリッチペイント
- 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗
- 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗
- 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗
- 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗

施工フロー



塗装仕様 (Rc-I 塗装系)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	素地調整程度1種 (プラストケレン)			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日～10日

塗装面積表

名称	塗装面積
主桁	100.78m ²
横桁	10.69m ²
支承	0.64m ²
合計	112.1m ²

図名	補修一般図 (上葛内橋)	1/5
署名	三陸中部森林管理署	
名称	折合林道改良工事 (上葛内橋)	
縮尺	図示	

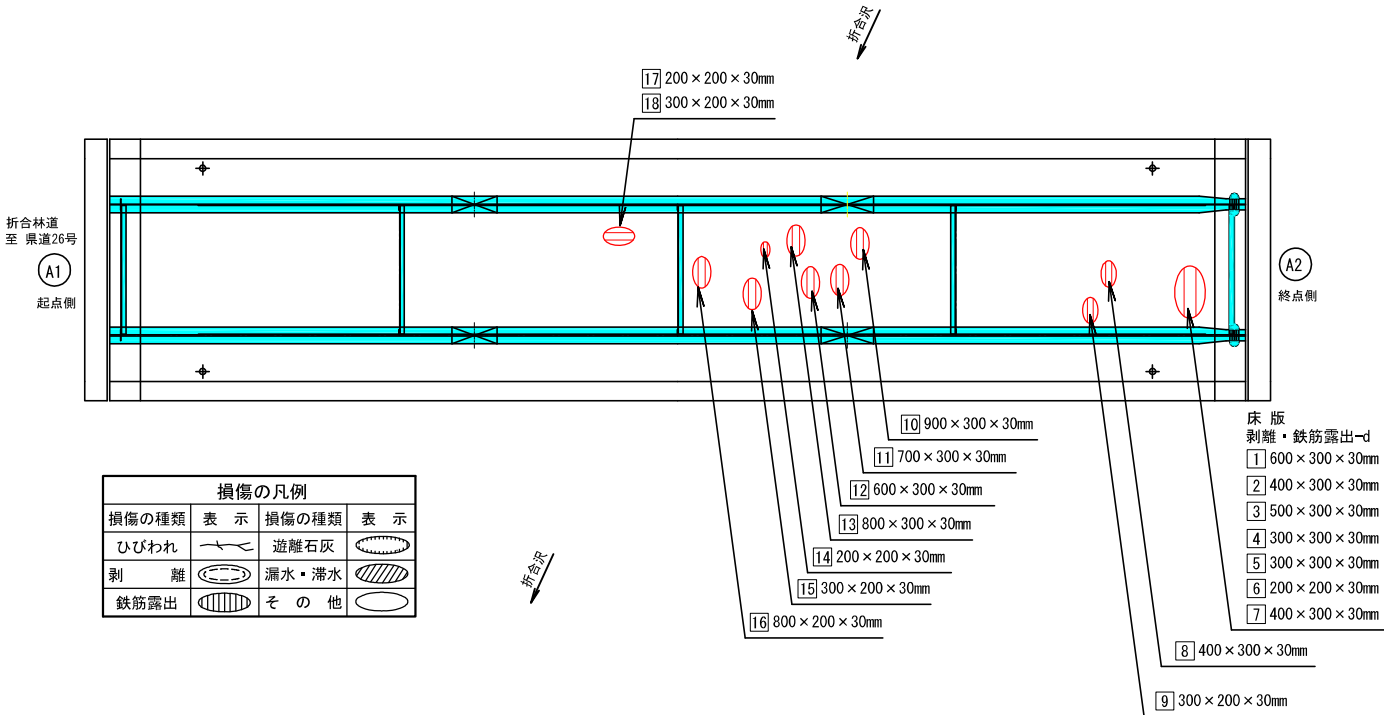
補修一般図

(上葛内橋)

断面補修工詳細図

断面修復工概要図

床版桁下面



損傷の凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰	
剥離		漏水・滞水	
鉄筋露出		その他	

数量表

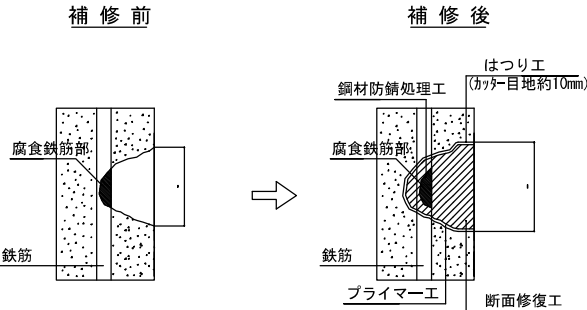
項目	仕様	単位	数量	備考
断面修復工 (左官工法)	コンクリート研り	m2	1.76	
	プライマー	m2	1.76	
	断面修復	m2	0.065	

- 注記)
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
 - 補修工法及び寸法は、調査結果により算出しているが、施工時に再度寸法調査後、適する工法を選定し補修を行うこと。
 - コンクリートの脆弱部は確実にはつり落とし、補修を行うこと。
 - 補修工事に当り鉄筋のかぶり高が確保されていない箇所は、鉄筋を押し込み所定のかぶりを確保すること。
 - 鉄筋に免蝕がある場合は、鉄筋背面までのはつり出し、鉄筋の錆落とし、清掃を行った後、鉄筋防錆処理を行うこと。
 - 断面修復を行う際は、健全な箇所に損傷を及ぼさないよう劣化部分のコンクリートを除去すること。
 - 1回の埋め戻し厚は20～30mmを標準とし、下層のモルタルが十分硬化したことを確認した上で次層のモルタルを塗り重ねること。
 - フェザーエッジを作らないよう、端部はカッター処理を行うこと。

補修工法凡例

□	断面修復工 (左官工法)
---	--------------

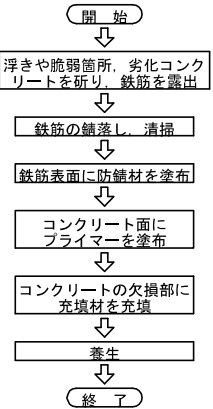
左官工法



材料表

工種	仕様
鋼材防錆処理	ポリマーセメント系防錆材
プライマー	エポキシ樹脂系プライマー
断面修復	ポリマーセメント系モルタル材

施工手順フロー

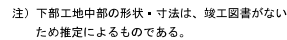


※プライマー(下塗り塗料)=被着体(充填剤)との密着性を高める。

図名	補修一般図 (上葛内橋)	2/5
署名	三陸中部森林管理署	
名称	折合林道改良工事 (上葛内橋)	
縮尺	図示	

かみ くず ない ばし

S=1 : 60



S=1 : 60



S=1 : 30



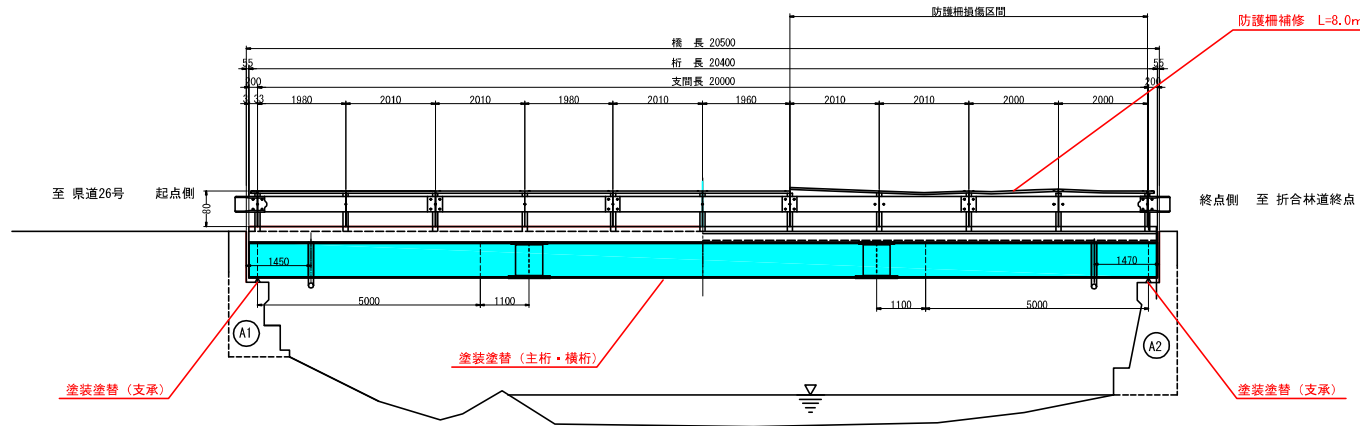
部 材 表

名 称	形状・寸法	数 量	摘 要
支柱	φ114.3×4,5	4	
ビーム	2.3×350×50×4330	2	
袖ビーム	2.3×356×660	1	
ブラケット	4,5×70×300	4	
ボルト	M20×145	8	ブラケット取付け
ボルト	M16×35	16	ビーム取付け
笠 木	150×50×3,2×4000	10	
ボルト	M16×35	2	笠木取付け
端束笠木	150×50×3,2×150	1	

図名	補修一般図（上葛内橋）	3/5
署名	三陸中部森林管理署	
名称	折合林道改良工事（上葛内橋）	
縮尺	図示	

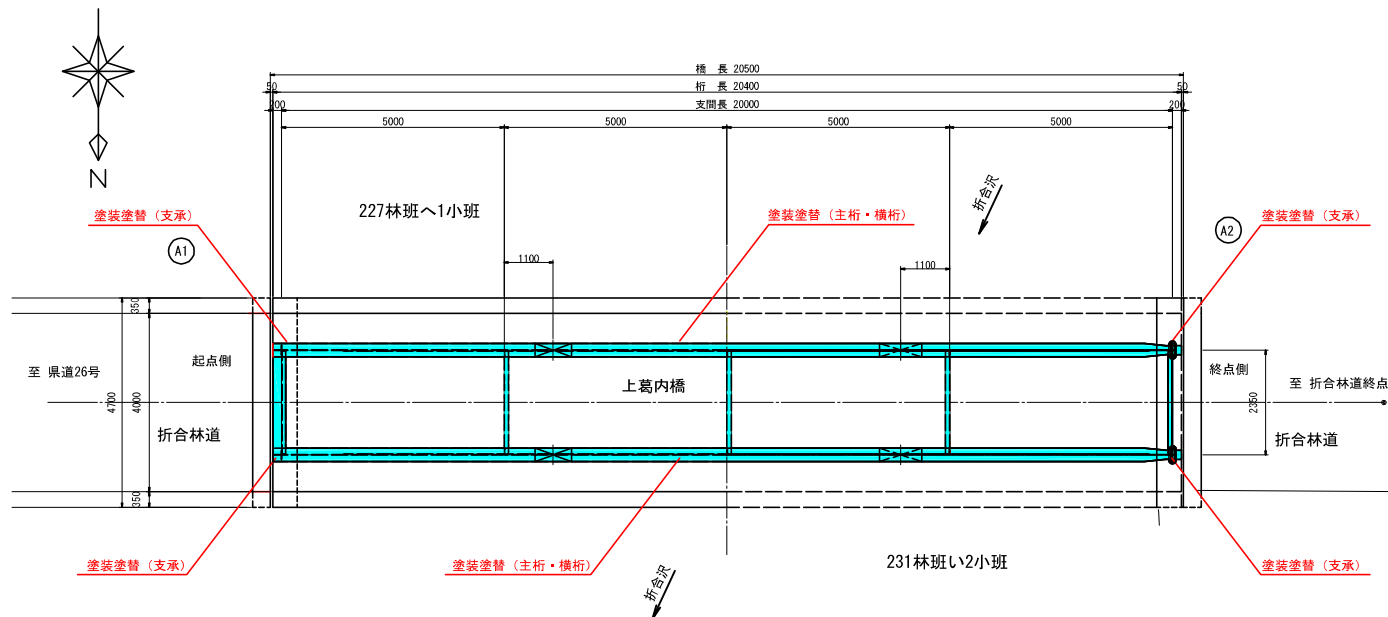
補修一般図 (上葛内橋)

側面図(下流側) S=1:60

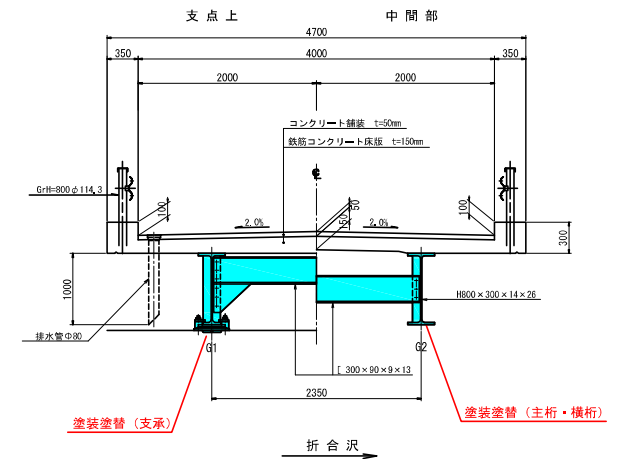


注) 下部工地中部の形状・寸法は、竣工図書がないため推定によるものである。

平面図 S=1:60



上部工断面図 S=1:30



部 材 表

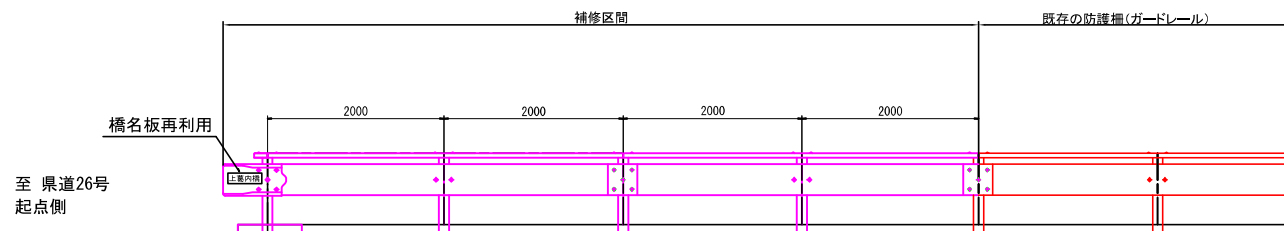
名 称	形状・寸法	数 量	摘 要
支 柱	φ114.3×4.5	0	
ビーム	2.3×350×50×4330	0	
袖ビーム	2.3×356×660	0	
ブラケット	4.5×70×300	0	
ボルト	M20×145	0	ブラケット取付け
ボルト	M16×35	0	ビーム取付け
笠 木	150×50×3.2×4000	2	
ボルト	M16×35	10	笠木取付け
端木笠木	150×50×3.2×150	1	

図 名	補修一般図(上葛内橋)	4/5
署 名	三陸中部森林管理署	
名 称	折合林道改良工事(上葛内橋)	
縮 尺	図 示	

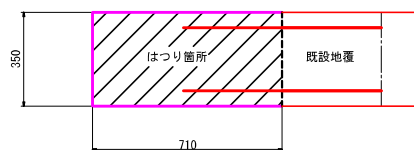
既設部分	—
補修箇所	—

補修一般図 (上葛内橋)

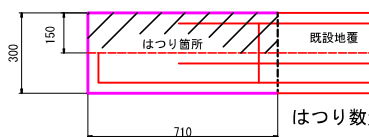
上部工断面図 S=1:30



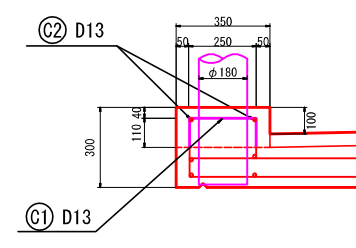
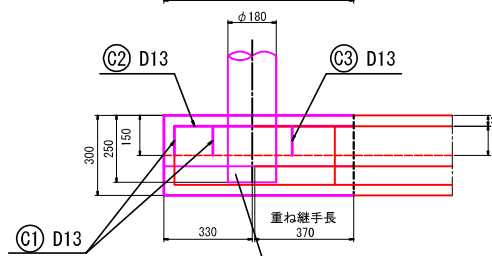
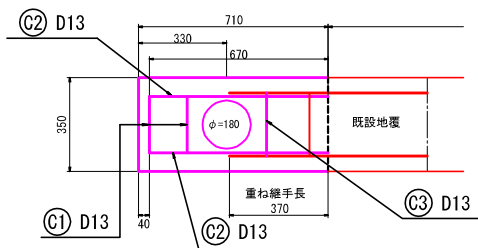
地覆はつり及び補修区間平面図



地覆はつり及び補修区間及び支柱建込み断面図



$$\text{はつり数量 } V = 0.71 \times 0.35 \times 0.25 = 0.062 \text{ m}^3$$



$$\text{支柱内充填数量 } V = (0.09 \times 0.09 \times 3.14 \times 0.25) - (0.06 \times 0.06 \times 3.14 \times 0.25) = 0.004 \text{ m}^3$$

鉄筋加工表 (外形寸法)

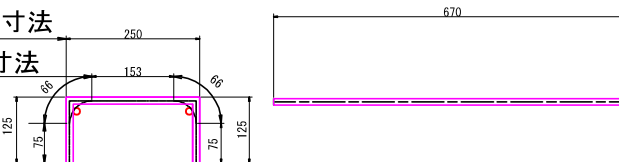
部 材	鉄 筋 番 号	鋼 材 質	鉄筋公称径 (mm)	鉄筋長 (mm)	部材数	各部材の鉄筋本数	鉄 筋 総 数	総延長 (mm)	形状番号	曲げ寸法 (mm)					
										a	b	c	d	e	R
地 覆	C1	SD345	D13	435	2	2	2	870	2	125	153	125			32.5
"	C2	"	"	670	2	2	2	1340	1	670					
"	C3	"	"	462	1	1	1	462	2	125	180	125			32.5

※ 主鉄筋が下側に配力筋が上側にくる。

地覆鉄筋表 (中心寸法)

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	本 当 質 量	質 量	形 状	摘 要
C1	D13	435	2	0.995	0.43	0.9	□	
C2	D13	670	2	0.995	0.67	1.3	—	
C3	D13	462	1	0.995	0.46	0.5	□	
鉄筋質量 D13 (SD345)				2.7 kg				
コンクリート体積 (σck=24N/mm ²)				0.056 m ³ (0.71×0.35×0.25)-(0.09×0.09×3.14×0.25)=0.056				
型枠面積				0.44 m ² (0.25×0.71×2)+(0.25×0.35)=0.442				

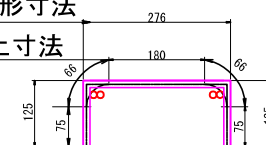
外形寸法
中心線上寸法



② 2-D13x670

① 3-D13x435

外形寸法
中心線上寸法

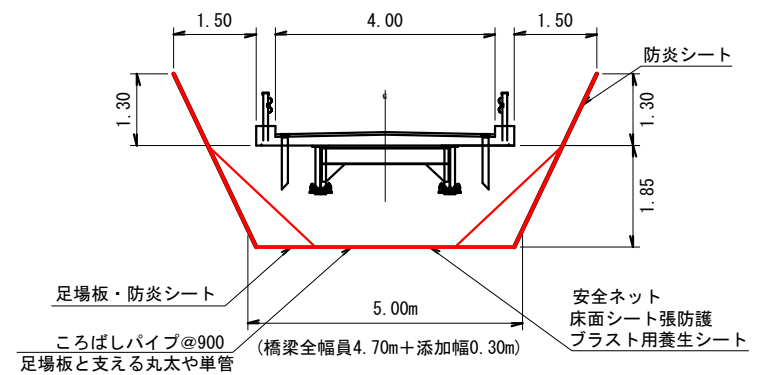
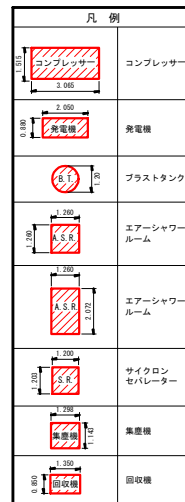
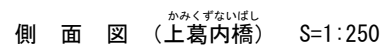


③ 1-D13x462
75+66+180+66+75=462

※ 地覆内部の配筋図は、想定であるためはつり後に内部に相違がある場合は修正すること

図 名	補修一般図 (上葛内橋)	5/5
署 名	三陸中部森林管理署	
名 称	折合林道改良工事 (上葛内橋)	
縮 尺	図 示	

※ 平場の凹凸は土のう及び盛立により整形して均し敷鉄板を敷設すること



足場工規格	面積 (㎡)
床版補強足場タイプ-A3 吊り足場(部材移動有)	91.7㎡
床版補強足場タイプ-B 両面朝顔	91.7㎡

図 名	施工計画図（参考図）
署 名	三陸中部森林管理署
名 称	折合林道改良工事（上葛内橋）
縮 尺	1:250